

2025年4月1日

中長期ビジョン及び中期経営計画

2025-2029

 社会福祉法人 菊鉾会

はじめに

社会福祉法人菊鉾会が、1997年に事業を開始してから28周年となりました。

そこで、設立30周年を控えたこの節目に、当法人が今後向かっていく方向性を、法人理念に沿って中長期ビジョンという形に決めました。

さらに、その中長期ビジョンをもとに、障害のある方より良い生活のため、この五年間何をすべきかを4つの中期経営計画にまとめました。

「あなたの持っている力を信じ、共に夢に向かい、喜びを分かち合う」、そんな菊鉾会であり続けるために、30周年も、その先も邁進して参ります。

法人理念

愛を込めて芽を育て、大きく舞う日を楽しみに

～あなたの持っている力を信じ、共に夢に向かい、喜びを分かち合う～

中長期ビジョン

「笑顔を求めて深く、広く」

深く：専門性の追求、サービスの質の向上、あくなき探究心

広く：広い視野、地域への貢献、新たなチャレンジ

中期経営計画

■人材の確保、定着

質の高い福祉サービスを提供するために、優れた人材の確保、定着を図ります。

①福祉領域に限らない、慢性的な人材不足・応募者減少に対応すべく、求人採用活動の強化を行います。

【重点項目】

多様なメンバー構成で採用チームを組織し、求める人物像を明確にします。また採用方法の見直しを行い、計画的かつ丁寧な採用活動を実施します。

②職員一人ひとりが働きやすく、定着しやすい、職場環境の整備を進めていきます。

【重点項目】

職員の健康管理とウェルビーイングの促進を図りながら、理念やビジョンなど法人や各事業所、各部署として向かう場所を共有する機会、仕組みを構築し、やりがいを持って働ける職場を目指します。

■人材の育成

社会福祉法人の使命として、専門性の高いサービスを提供し、より広く地域に貢献するために次世代を担う人材の育成を図ります。

①職員の資質向上と専門性強化のための環境・制度を充実させます。

【重点項目】

研修部門の強化及び、研修制度の充実を図りながら、各階層に必要な研修への参加や資格の取得を奨励し、知識・技能の向上を図ります。

②法人の次世代を担う人材を育てていく為に、職員一人ひとりのキャリア形成を整備します。

【重点項目】

職員一人ひとりの目標や希望などを踏まえ、個々のキャリアパスを明確にし、新たな職域へチャレンジしていく役職者候補の職員の育成をします。

■法人基盤の安定

地域福祉により深く、広く貢献していくために、法人基盤の安定を図り、継続的な成長の実現を目指します。

①障害福祉施策等の社会情勢に柔軟な対応をしながら、健全で持続可能な基盤づくりを行います。

【重点課題】

企画・経営部門を設置し、経営課題を洗い出し、厳格な財務管理、経営の健全性と透明性の確保を行います。また、適宜実施方法を見直し、法令を遵守した経営を行います。

②ご利用者、職員、及び地域に選ばれる法人になるために、ニーズに沿った魅力あるサービスの提供を目指します。

【重点課題】

法人としてご利用者や地域に貢献するために必要かつ十分な組織力をつけ、既存事業の更なる充実など、魅力的な事業を展開します。

■地域に根ざした事業所づくり

誰もが地域で安心して自分らしく暮らしていけるように、地域づくりの拠点として主体的な役割を果たし、地域に開かれ信頼される事業所の実現を目指します。

①災害時における地域の避難所として福祉避難所の機能の強化を図ります。

【重点項目】

福祉避難所についての理解を深め、災害時の迅速な対応のために定期的な研修と防災備品の整備や備蓄物資の充実を図ります。

②地域とご利用者の橋渡しとなり、各事業所と地域とのつながりの強化を図ります。

【重点項目】

ご利用者と共に地域福祉の向上に向けた取り組みを増やし、各事業所の活動を地域の方に知ってもらうことで、地域からの信頼と協力を得ていきます。

※本来、福祉専門職として対等であることを前提とすると「利用者」とすることもあります。が、権利擁護の視点から、より丁寧な「ご利用者」と表記しております。